

草の根・人間の安全保障無償資金協力
「アフール州セメラ・ロギア市セメラ中等学校拡張計画」及び
「南エチオピア州ウォライタ県ソド市ヒンタラ小学校拡張計画」発足式

2025 年 1 月 21 日、駐エチオピア日本国大使公邸において、草の根・人間の安全保障無償資金協力「アフール州セメラ・ロギア市セメラ中等学校拡張計画」及び「南エチオピア州ウォライタ県ソド市ヒンタラ小学校拡張計画」の発足式が開催されました。

式典には「アフール州セメラ・ロギア市セメラ中等学校拡張計画」の事業実施団体であるベレトウ「原野の声開発協会」代表が出席しました。本案件は、我が国から約 57,000 ドル（約 800 万円）を供与し、家具付き校舎 1 棟（3 教室）及び扇風機等の学校備品を整備するものです。本支援による教室内の過密状態の解消及び室温の改善により、同校約 1,000 名の生徒の学習環境がより快適になることが期待されます。

また、「南エチオピア州ウォライタ県ソド市ヒンタラ小学校拡張計画」の事業実施団体であるアイナレム「脆弱な子供たちのための未来世代の希望組織」代表が出席しました。本案件は、我が国から約 56,500 ドル（約 780 万円）を供与し、家具付き校舎 1 棟（4 教室）及びトイレ棟 2 棟を整備するものです。本支援により、教室内の過密状態の解消及び衛生環境の改善が期待され、同校約 1,200 名の生徒の学習環境が改善されることになります。

同式典において、柴田大使は、国家の基盤である教育分野は、我が国政府が最も力を入れている支援分野の 1 つであり、今回の NGO との協力をはじめ両国の協力を強化することで、都市部のみならず地方部においてもエチオピアの子どもたちがよりよい環境で教育を受けられるよう期待を述べました。



柴田大使（中央）と
ベレトウ原野の声開発協会代表（左）、
アイナレム脆弱な子供たちのための未来世代の希望組織代表（右）



大使挨拶



集合写真